

4 令和3年度の事業予定について

1) 令和3年度の発掘調査・石垣測量について

[調査箇所] 登城路跡、東丸(三の丸)北側土塁、東丸(三の丸)周辺石垣等現況測量(巽門西側石垣)

[調査目的] 登城路跡5次(第38次)

- ・清水門跡周辺の登城路の位置および遺構の確認と巽門西側石垣の延長の確認

東丸(三の丸)土塁7次(第39次)

- ・東丸(三の丸)北側土塁の形状および土塁上の遺構の確認

扇坂下1次(第40次)

- ・平場内の遺構の確認

清水門井戸石垣・巽門西側測量(第41次)

- ・登城路跡周辺に点在する石垣の現況確認および今後の整備に向けた基礎データの収集

[調査期間] 令和3年5月10日～令和3年10月8日(予定)

[調査面積] 登城路跡5次:約158㎡ 東丸(三の丸)土塁7次:約60㎡ 扇坂1次:約60㎡
石垣測量:約136㎡
(立面)

登城路跡5次(第38次)

- ・4次調査で確認した路面の広がりを確認し、清水門へ至る登城路の北辺区画を明らかにする。
- ・巽門西側石垣の南側延長部を確認する。

東丸(三の丸)土塁7次(第39次)

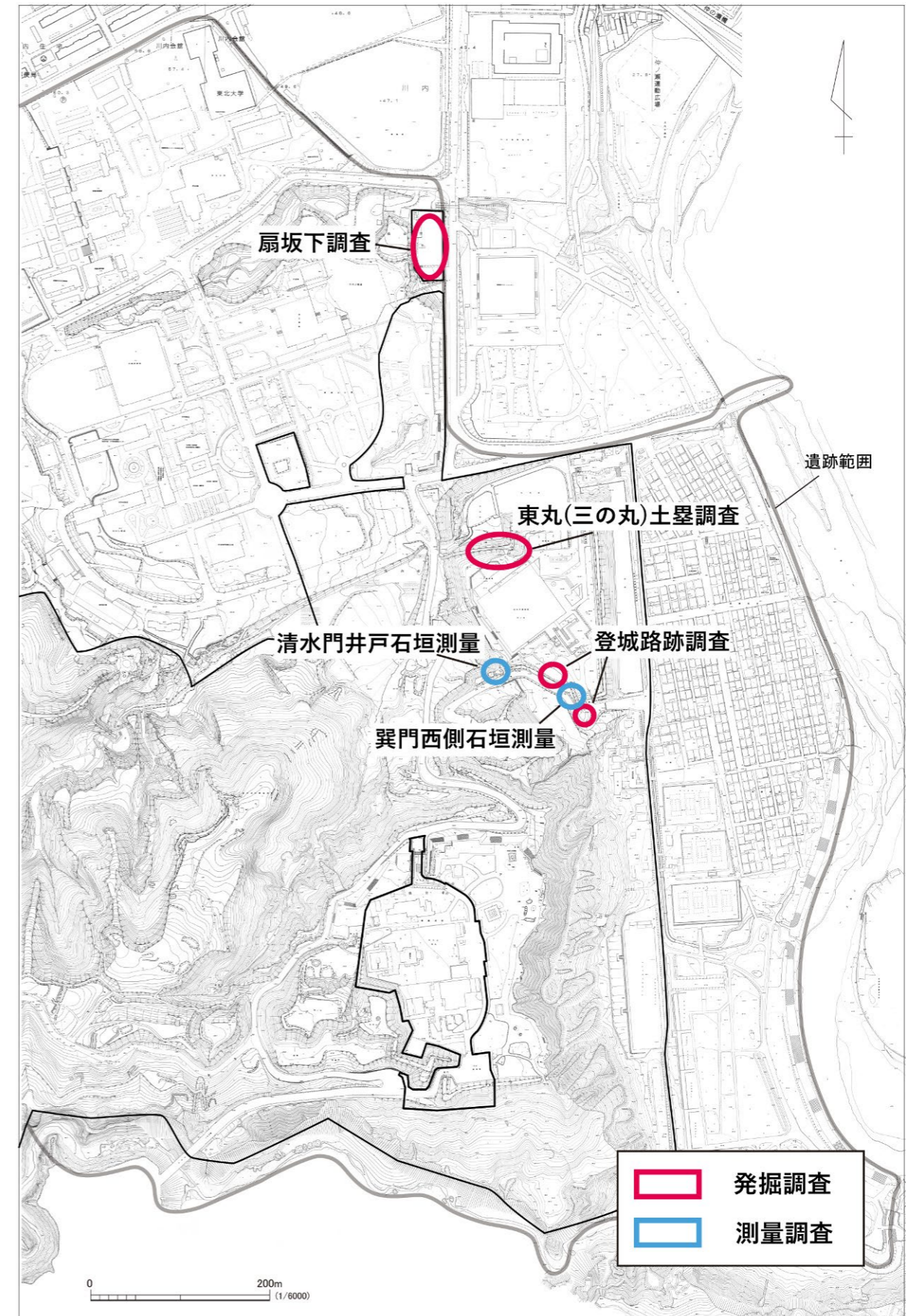
- ・6次調査で確認した堀跡の延長を確認し、堀跡の西辺を明らかにする。
- ・土塁盛土の残存状況を確認し、廃城後の改変の有無を明らかにする。

扇坂下1次(第40次)

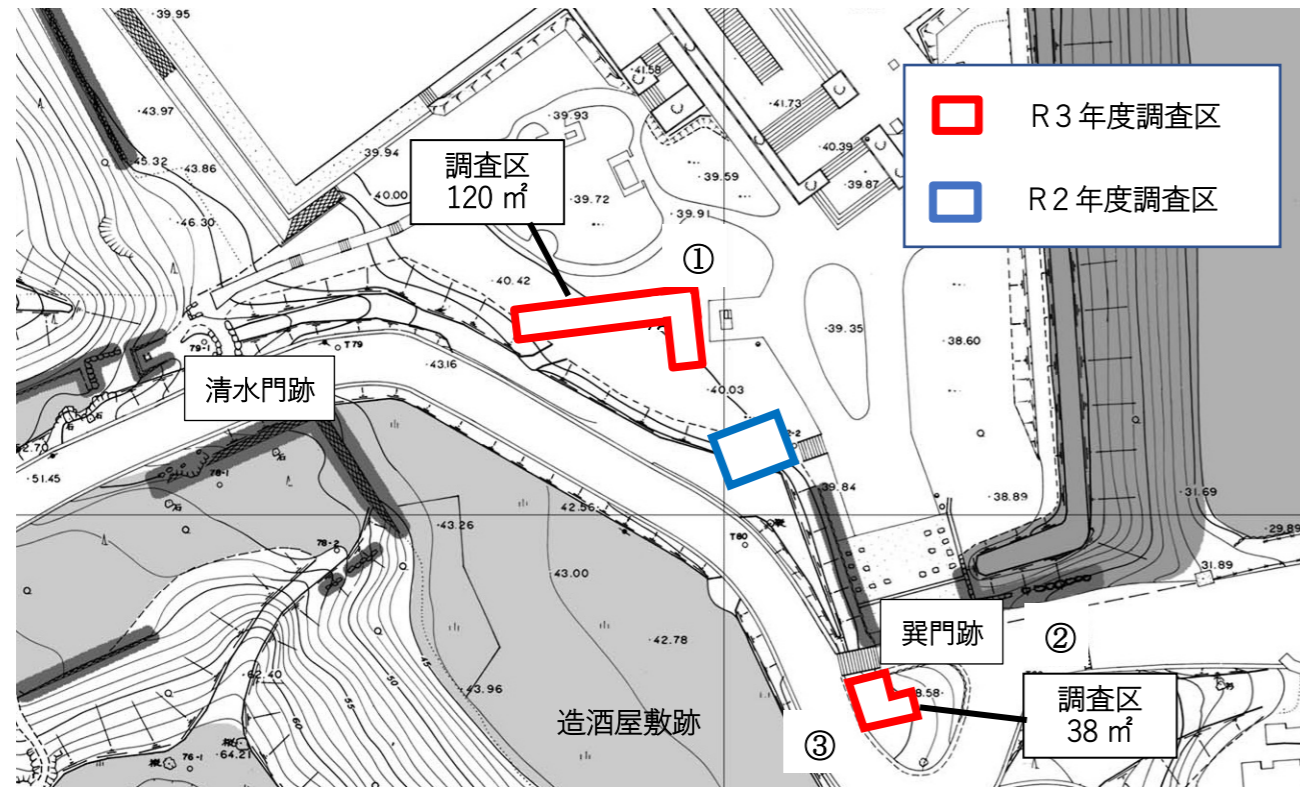
- ・江戸時代における千貫沢と平場の境界を明らかにする。
- ・平場内に建物等の遺構を確認する。

清水門井戸石垣・巽門西側石垣測量(第41次)

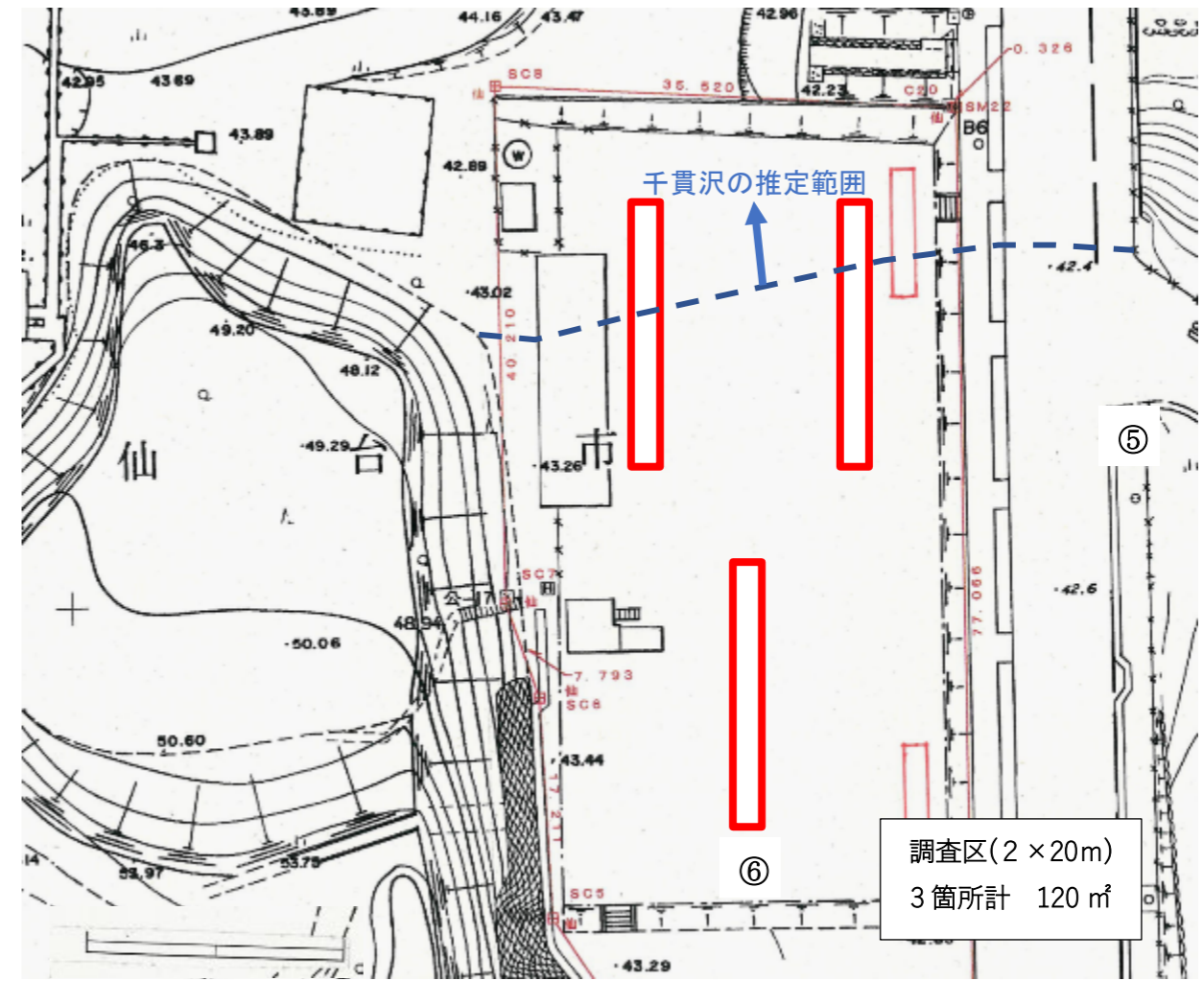
- ・現況で石垣の変形が見られ、崩落の危険性がある状況であるため、早急に現況を記録することにより、保存のための方策を検討する材料とする。



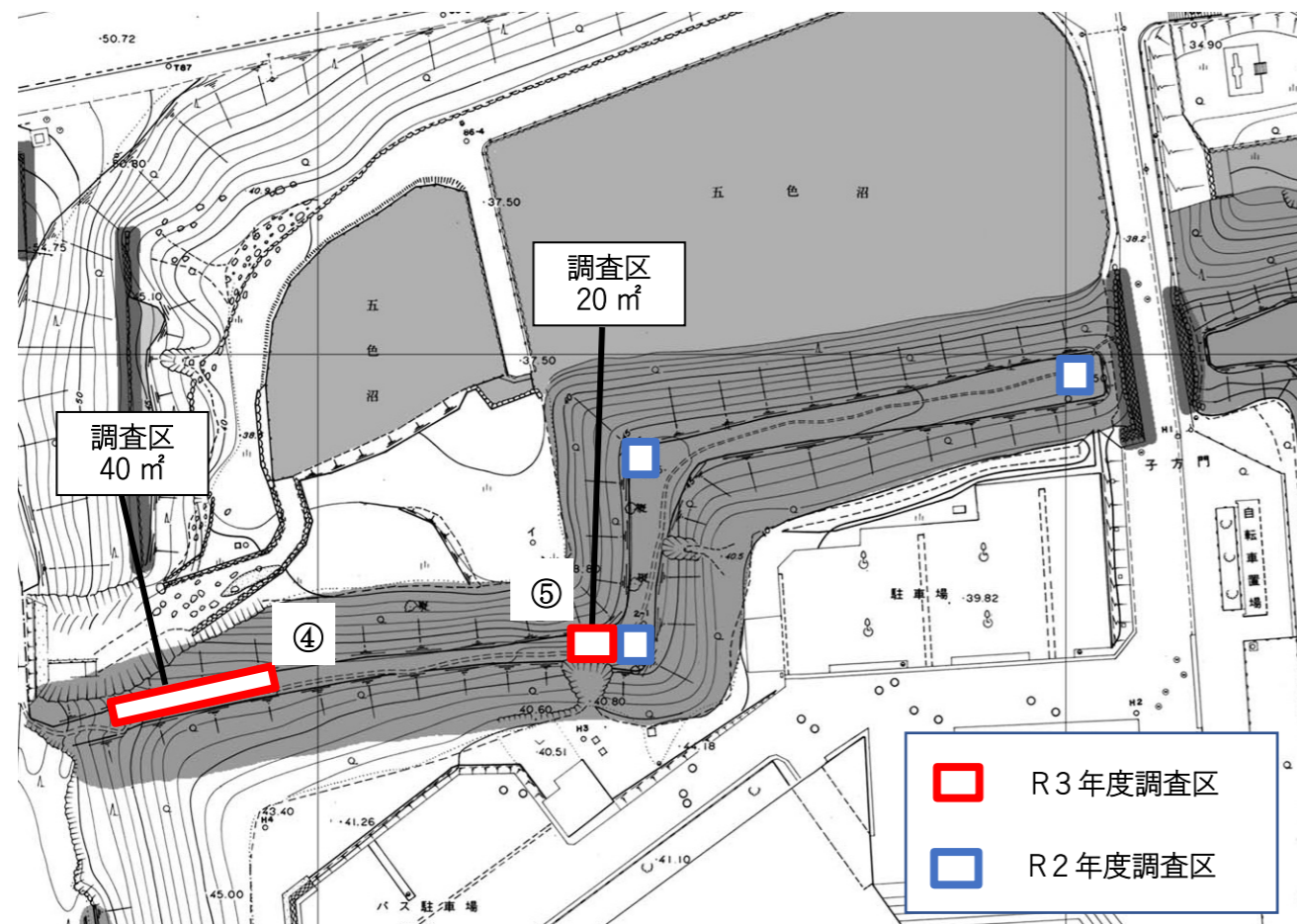
第1図 令和3年度 発掘・測量調査予定箇所



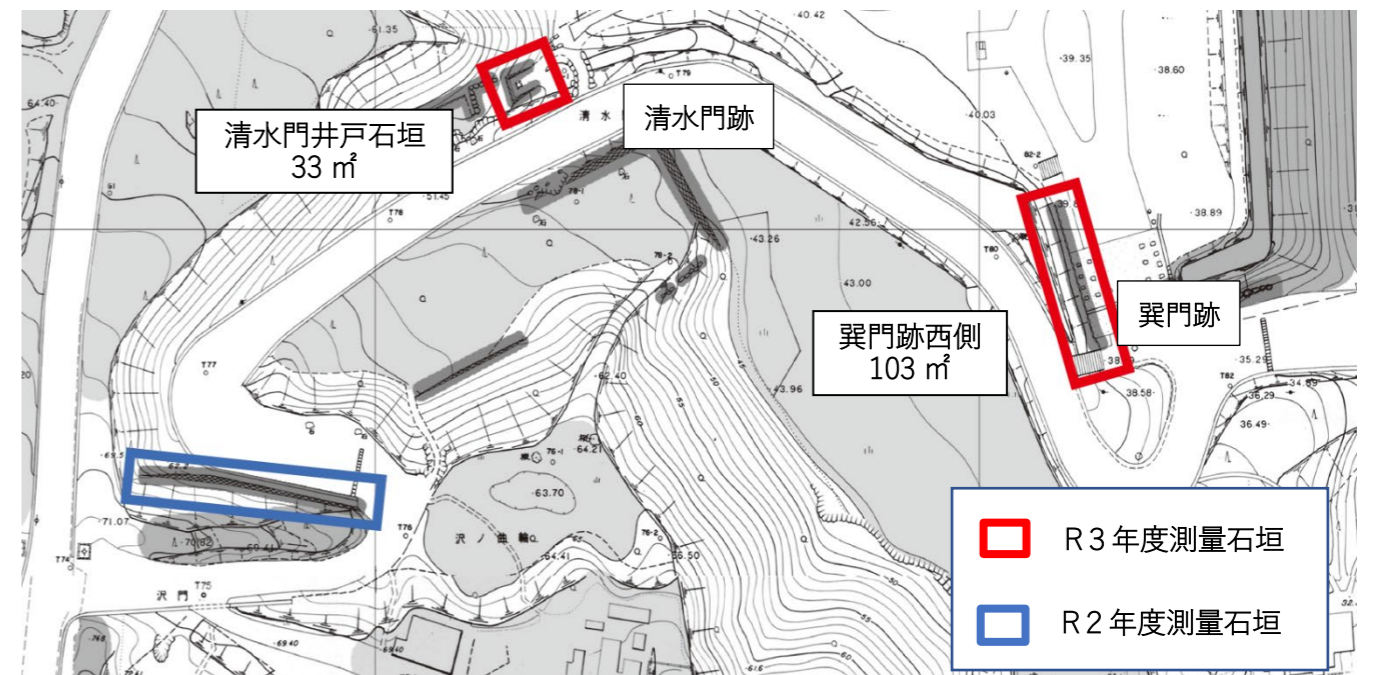
第2図 登城路跡確認調査区位置図



第4図 扇坂下確認調査位置図



第3図 東丸 (三の丸) 土塁確認調査位置図



第5図 清水門井戸石垣・巽門西側石垣測量調査位置図



第 6 図 登城路跡確認調査区①付近（東から）



第 7 図 登城路跡確認調査区②付近（東から）



第 8 図 登城路跡確認調査区③付近（南から）



第 9 図 東丸（三の丸）土塁（北側）確認調査区④・⑤
付近（北から）



第 10 図 東丸（三の丸）土塁（北側）確認調査区⑤付
近（東から）



第 11 図 扇坂下確認調査区 遠景



第 12 図 扇坂下確認調査区 現況⑥付近（東から）



第 13 図 扇坂下確認調査区 現況⑦付近（南から）